

テクノロジー・イノベーションで明日を創る

ミナトホールディングス

2021年3月期 第2四半期決算説明資料

MINATO

2020年11月10日

ミナトホールディングス株式会社

CONTENTS

- ① 2021年3月期 第2四半期連結決算サマリー
- ② セグメント別売上高／営業利益
- ③ ミナト・トピックス
- ④ 2021年3月期 通期連結業績予想と今後の施策
- ⑤ 会社概要

1

2021年3月期 第2四半期連結決算サマリー

第2四半期業績ハイライト

連結
売上高

前年同期比 8.1%減

- ▶ 新型コロナウイルスの影響により営業・販売機会が減少

四半期
純利益

前年同期比 168.9%増

- ▶ 粗利減少、M&A関連費用等で営業利益マイナスも、有価証券の売却益計上等により大幅に増加

TOPIC

株式会社プリントンを子会社化し、グループ規模が拡大

- ▶ DX政策やウィズ・コロナで成長への期待が高まるデジタル会議システム事業の成長を取り込み、さらなる企業価値向上を目指す

新型コロナウイルス感染拡大の当社グループへの影響

産業用途メモリーモジュール、デバイスプログラマ関連、海外ATM向けタッチパネル等に大きな影響あり

メモリーモジュール

- PC向けは、テレワーク関連・個人PC向けニーズから1Qは好調に推移。コロナ禍を見据えた先買いの反動を受けて2Qは伸び悩んだが、下期にかけて回復基調。
- 産業用途向けは、取引先企業の在庫調整や減産、投資遅延の影響が続くが、年度後半に向けて回復の兆し。

デバイスプログラマ・ディスプレイソリューション

- 車載メーカー等の取引先企業各社の生産計画見直し、工場の稼働低下、設備投資抑制等の影響を大きく受け、プログラマ関連の各プロダクト売上高は前年同期比で40-60%程度に留まる。
- 海外ATMタッチパネルや大型ディスプレイの出荷も大幅に減少。
- 下期～来期に向けた受注には回復傾向。

2021年3月期第2四半期連結業績 (2020年4月1日～2020年9月30日)

新型コロナウイルス感染拡大による影響等により売上高、利益ともに減少。有価証券売却益により、四半期純利益は大幅増益

(百万円)	FY19 上期	FY20 上期	増減額	増減率 (%)	
売上高	5,742	5,278	△464	△8.1	売上高 メモリアル事業 △352百万円
売上総利益	730	607	△123	△16.9	減価償却費 +10百万円 (実額59百万円)
販管費	664	658	△5	△0.9	のれん償却額 増減なし (実額18百万円)
営業利益	66	△ 51	△117	—	
営業外損益	0	△41	△42	—	営業外損益 為替差損 +5百万円 持分法投資損益 △43百万円
経常利益	66	△ 92	△159	—	
特別利益	0	285	285	—	投資有価証券売却益 サイバーセキュリティクラウド株式 +281百万円
四半期純利益	56	150	94	168.9	

セグメント別業績 (2020年4月1日～2020年9月30日)

営業利益は前年同期比 117百万円減少

- 第1四半期に好調だったPC向けメモリーモジュールが、顧客の在庫調整により一服
- 産業用メモリーモジュール、デバイスプログラマ・ディスプレイにおいて、新型コロナウイルスによる顧客企業の生産計画見直し、設備投資抑制等の影響を受けて受注が減少
- ROM書込みサービスに係る新規ビジネス関連費用、インテリジェント・ステレオカメラ事業に係る開発費が増加
- 全社費用が、M&Aに係る一時的な費用計上等により増加

営業利益 (百万円)	FY19 上期	FY20 上期	増減額
メモリーモジュール事業	242	202	△40
デバイスプログラマ・ ディスプレイソリューション事業	△5	△40	△35
システム開発事業	21	22	1
その他事業	0	△18	△18
全社費用	△192	△217	△25
営業利益	66	△51	△117

連結貸借対照表①

プリンストン子会社化により、資産・負債ともに大幅に増加

(単位：百万円)

	20/3末	20/9末	増減
資産の部			
流動資産	6,654	9,661	3,006
現金及び預金	1,899	2,327	428
受取手形及び売掛金	2,172	2,900	728
商品及び製品	1,039	2,226	1,186
原材料及び貯蔵品	1,107	755	△351
固定資産	1,829	2,795	966
有形固定資産	984	1,303	319
無形固定資産	71	320	249
(うち、のれん	37	271	234)
投資その他の資産	774	1,172	398
(うち、投資有価証券	491	751	260)
(うち、関係会社株式	5	—	5)
繰延資産	1	1	0
資産合計	8,485	12,458	3,973

受取手形及び売掛金
プリンストン +1,430百万円
メモリーモジュール事業他△702百万円

商品及び製品
原材料及び貯蔵品
プリンストン +1,318百万円
メモリーモジュール事業 △518百万円

有形固定資産
プリンストン +115百万円
デバイスプログラミング事業+254百万円

無形固定資産
プリンストン社のれん +252百万円

投資その他の資産
サイバーセキュリティクラウド株式時価評価等 +190百万円
パイオニア・ソフト株式 +83百万円

連結貸借対照表②

自己資本比率は26.8%に低下（20年3月末比 △7.5ポイント）

（単位：百万円）

	20/3末	20/9末	増減
負債の部			
流動負債	4,104	7,303	3,199
支払手形及び買掛金	1,102	1,256	154
短期借入金	2,440	4,013	1,573
1年以内返済長期借入金	309	547	237
固定負債	1,380	1,716	336
長期借入金	1,071	1,197	125
負債合計	5,485	9,020	3,535
純資産の部			
株主資本	2,771	3,061	290
その他の包括利益累計額	138	281	142
（うち、その他有価証券評価差額	216	361	144）
新株予約権	89	89	0
非支配株主持分	—	3	3
純資産合計	3,000	3,437	437
負債純資産 合計	8,485	12,458	3,973

短期借入金
ホールディングス +600百万円
プリントン +973百万円

長期借入金
プリントン +565百万円
ホールディングス約定弁済△203百万円

株主資本
第三者割当増資 +130百万円
当期純利益 +150百万円

有価証券評価差額金
サイバーセキュリティクラウド株式
+144百万円

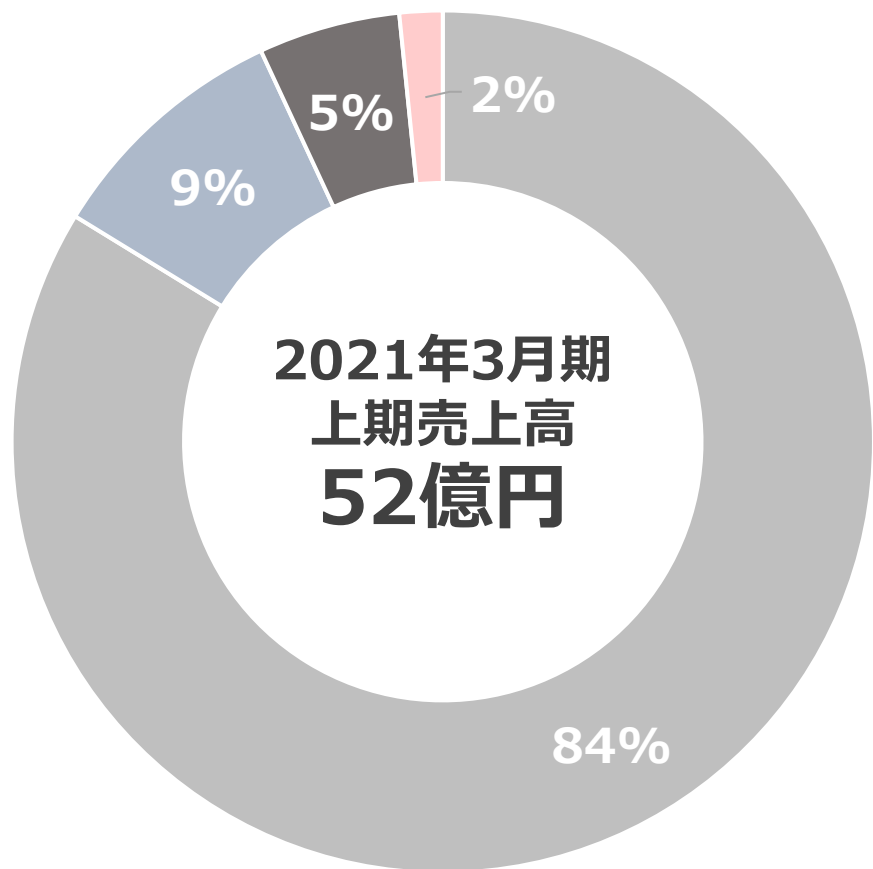
2

セグメント別売上高／営業利益

セグメント別事業の業績

メモリーモジュール事業が全体を牽引

(単位：百万円)



メモリーモジュール関連事業

売上高	4,434
営業利益	202

デバイスプログラミング・ディスプレイソリューション関連事業

売上高	493
営業利益	△ 40

システム開発関連事業

売上高	281
営業利益	22

その他事業

売上高	85
営業利益	△ 18

サンマックス・テクノロジーズ株式会社

- 産業機器用途向けコンピューター記憶装置の設計・製造・販売ノウハウを持ち、大手電機メーカーや半導体デバイス商社等へ販売
- PC、サーバー、MFP(多機能デジタル複合機)、POS、ATMなど用途は多岐にわたり、全数検査による高品質の製品供給が強み



DIMM (Dual Inline Memory Module)

複数のDRAMチップを基盤上に搭載したメモリーモジュールのこと。
コンピューターのメインメモリとして利用。

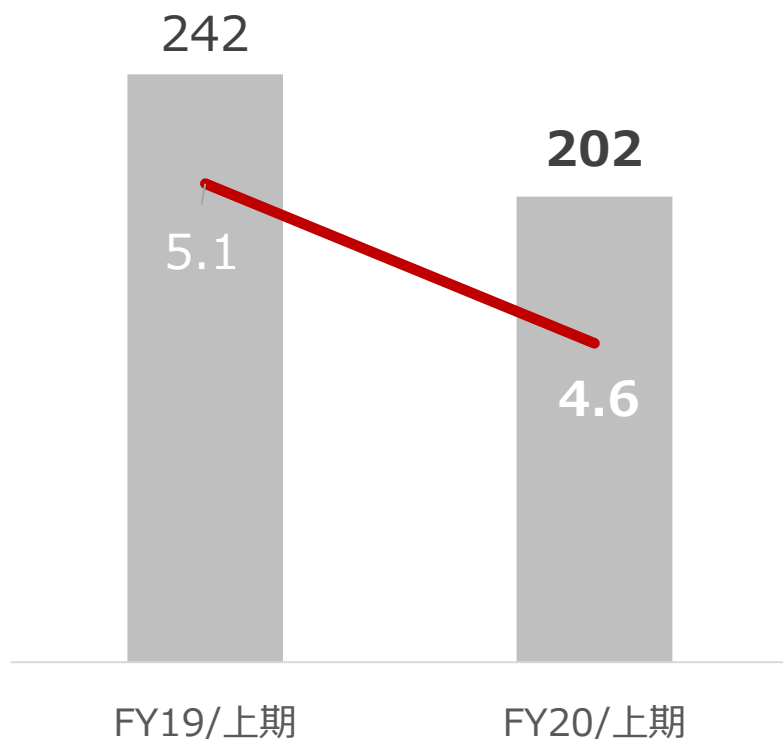
サンマックスは、DIMMの主要調達部材であるDRAMの調達に優れており、DIMMの開発・製造・販売までを一貫して手掛けている。



SSD (Solid State Drive)

メモリーモジュール関連事業の業績

■ 営業利益（百万円）
■ 営業利益率（%）



売上高 4,434百万円 前年同期比 7.4% ↓

営業利益 202百万円 前年同期比 16.3% ↓

コロナ 顧客企業の在庫調整や減産、投資遅延等の影響で営業・販売機会が減少

- 5G（次世代通信規格）関連や新型スマートフォン、次世代ゲーム機関連向け等の需要で市況回復期待あるも、DRAM、NANDの価格は下げ基調。
- テレワーク関連製品に係るDIMMやSSDの需要に一服感が見られたことや、産業用途向けメモリーモジュールにおいて、新型コロナウイルス感染拡大の影響による需要減を要因とした顧客企業の在庫調整や減産、投資遅延が発生したこと等の影響を受け、減収。
- 下期は回復の兆しがあるほか、スマートフォンやゲーム機向けメモリー製品の拡販、新製品リリースによる需要対応にも注力

株式会社プリンストン

- 2020年8月に100%子会社化 ※第2四半期は貸借対照表のみ連結に取り込み
- ビデオ・音声・クラウド会議システム及び関連機器の販売・保守サービス、PC周辺機器販売等を手掛ける。
- 米国Poly社及びシスコシステムズ社の国内有力パートナーとして、長年にわたり構築してきた販売・保守サポート体制に強みを有する。



ビデオ会議システム関連が堅調

ビデオ会議システム事業

- ビデオ・音声・クラウド会議システム及びweb会議サービスは、働き方改革やテレワーク支援ツールとしての需要が高く、ユニファイドコミュニケーションツールとしても注目されている。
- ライセンス契約数も堅調で、引き続き販売・保守サポートに注力。

PC周辺機器販売事業

- eスポーツ市場向けのゲーミング関連のほか、文部科学省が推進する「GIGAスクール構想」向けのツールや周辺機器の取扱いが拡大中。引き続き拡販に向けアプローチ強化を継続。
- アメリカ国防総省の規格をクリアした耐衝撃機能を持つモバイルケース「URBAN ARMOR GEAR」(UAG)の日本国内正規販売代理店として、スマートフォン各機種やタブレット端末等の新製品リリースに伴う拡販を引き続き強化。



全世界で高い評価を受けるモバイルケースブランド
UAG(URBAN ARMOR GEAR)

デバイスプログラミング・ディスプレイソリューション関連事業

ミナト・アドバンスト・テクノロジーズ株式会社

MINATO

ミナト・アドバンスト・テクノロジーズ

- デバイスプログラマや自動プログラミングシステム的设计・販売
- ROMやCPUへのプログラム書込み事業（ROM書込みサービス）
- タッチパネルやデジタルサイネージ関連機器の企画・设计・販売



デバイスプログラマ
ROMやCPU等のデバイスに
データを書込む機器

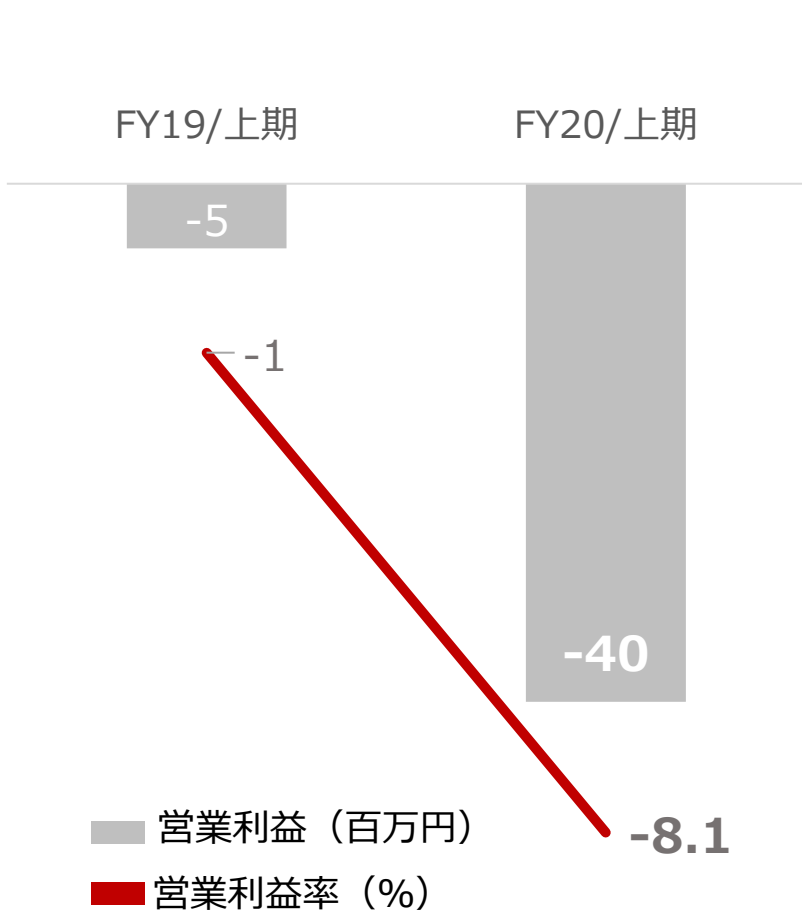


自動プログラミングシステム



ROM書込みセンター
(横浜)

デバイスプログラミング・ディスプレイソリューション関連事業の業績



売上高

493百万円

前年同期比

15.1%



営業利益

△40百万円

前年同期比

△34百万円



コロナ

顧客企業の生産計画見直し、設備投資抑制等で減収

デバイスプログラミング事業

- プログラム本体及び変換アダプタ関連は、主要顧客の工場稼働が回復しきれておらず、利益率の高い変換アダプタの需要も伸び悩む。下期は回復見込み。
- ROM書込みサービスにおける設備投資の実施により、費用負担が先行。下期本格スタートで収益化見込み。

ディスプレイソリューション事業

- 海外AMT向けタッチパネルの受注が低調に推移したこと等から減収となるも、新製品等の投入を進める。

システム開発関連事業



株式会社イーアイティー

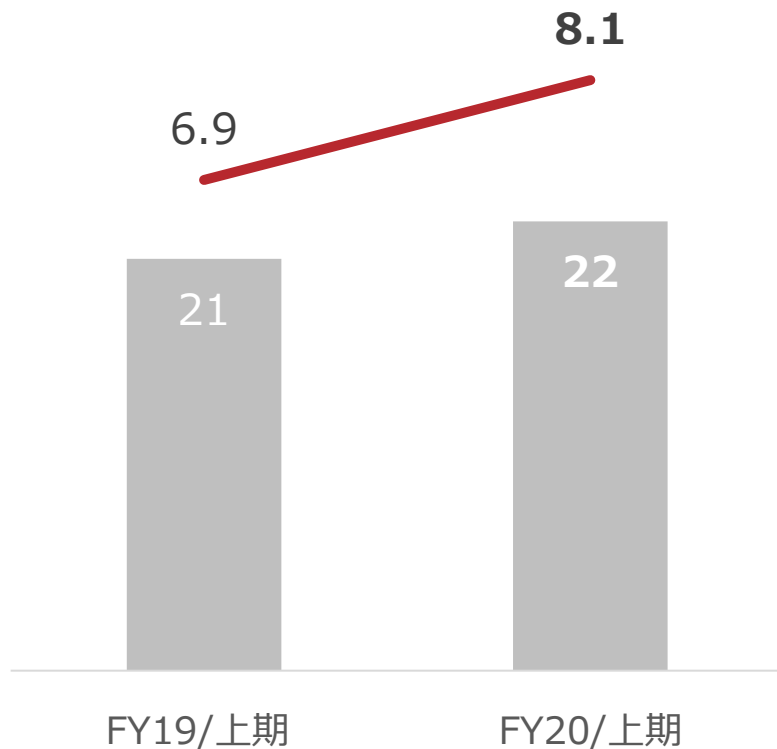
- システムエンジニアリングサービス
(WEBシステム・汎用系システム・ERPの開発、データベース・ネットワークの構築等)
- 各種システムの一括受託
- 2020年8月に株式会社パイオニア・ソフトと資本・業務提携を行い、同社の優先株式を取得。営業面を中心として、両社での協業を推進中。



システム開発関連事業の業績

■ 営業利益（百万円）

■ 営業利益率（%）



売上高

281百万円

前年同期比
10.2%



営業利益

22百万円

前年同期比
6.2%



コロナ

顧客企業の内製化や予算縮小等により、稼働時間短縮が発生

- 技術支援型（人材派遣）、受託開発案件ともに顧客企業のプロジェクト縮小等の要因により稼働時間が短縮。受注及び受託件数の減少とともに売上減少
- 従業員の約7割を在宅勤務として対応していることから、販管費が減少
- 2020年8月に資本業務提携した株式会社パイオニア・ソフトとの協業により、IT技術者や開発スキルの層に厚みを持たせ、戦略的な事業展開を目指す

その他事業

成長分野で積極的に事業推進

日本ジョイント
ソリューションズ(株)



ウェブサイトの構築や広告の制作プロデュース
セールスプロモーション、マーケティングのコンサルティング業務

ミナト・アドバンスト・
テクノロジーズ (株)



インテリジェント・ステレオカメラ事業
環境エレクトロニクス事業（LED照明の受注販売など）

ミナト・フィナンシャル・
パートナーズ (株)



財務コンサルティング ファイナンスアドバイザー関連業務
太陽光発電事業（福島、群馬にて売電中）

ジー・ワーカー(株)



メモリー、モバイルアクセサリ事業

その他事業（インテリジェント・ステレオカメラ）

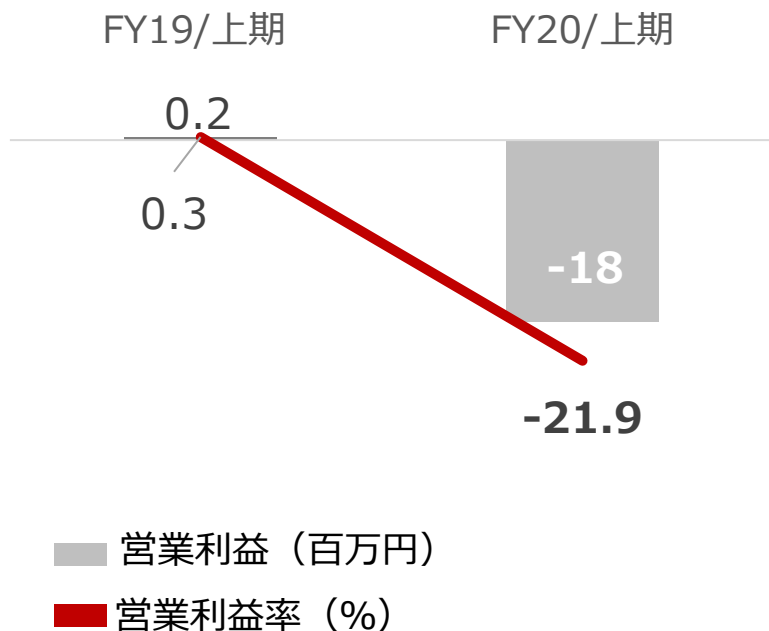
■ ミナト・アドバンスド・テクノロジーズが開発推進するカメラセンサー

- 業務提携先の東工大発ベンチャーITD Lab株式会社と連携した、測距、形状認識を高速で行う高性能2眼カメラセンサー
- 無軌道搬送機（AGV）等の自動運転、障害物センサー、産業用ロボット等の多分野での活用が期待。顧客のニーズに合わせた新型機の開発も進行中
- 株式会社アラヤとの連携により、ディープラーニング技術も導入



インテリジェント・ステレオカメラ 「ISC-100VM」

その他事業の業績



売上高

85百万円

前年同期比

12.5%



営業利益

△18百万円

前年同期比

△18百万円



Webサイト構築・コンサルティング

- 営業強化により売上高・利益ともに増加

インテリジェント・ステレオカメラ事業

- 量産化に向けた開発費負担が増加したことから、営業損失が継続。多様な用途での利用・量産化に向け推進中

モバイルアクセサリ事業

- 上期は営業活動に制約。下期は自社製品のリリースを多数予定しており拡販に注力

財務コンサルティング・投資

- 保有する太陽光発電所稼働により売電収入が増加

3

ミナト・トピックス

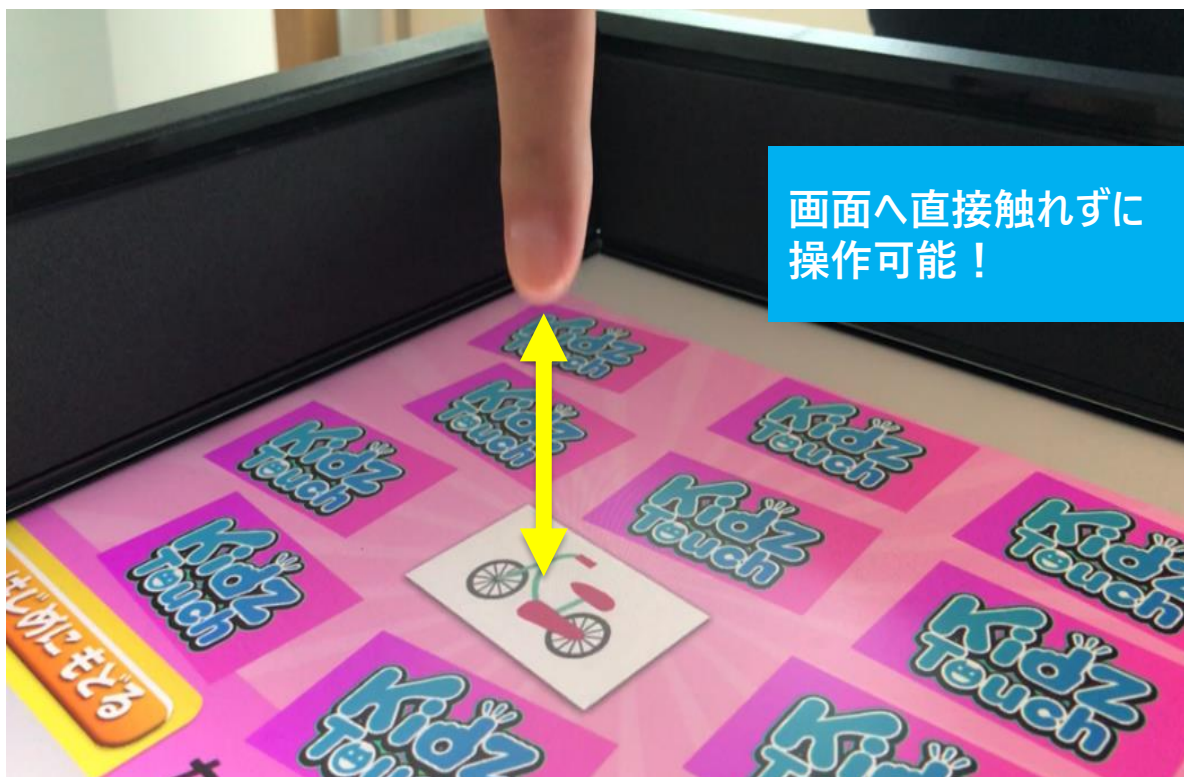
株式会社プリンストンを子会社化

2020年8月、デジタル会議システム事業等を展開する株式会社プリンストン（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：中出敏弥）の全株式を取得し、連結子会社化。

子会社化の理由

- テレワーク需要の拡大等に伴い成長が著しく、また今後もDX分野等で更なる活用が期待されるビデオ・音声会議システム事業において、本件対象会社が長年にわたって構築してきた販売力、保守・サポート力に加え、当社グループのネットワーク・人材・財務力を活用することで、一層の事業拡大と成長が期待できる。
- 当社グループと本件対象会社の顧客の重複がほとんどないことから、互いの顧客向けに提案できる製品・サービスの幅が広がるとともに、ビデオ会議システム、メモリー製品、e-Sports市場向け商品、IT関連製品・サービス領域等、当社グループが取り扱う製品・サービスが大幅に増加し、顧客基盤の拡大、売上高・収益力の伸長等が期待できる。
- 本件対象会社が持つ成長力ある事業を当社の事業ポートフォリオに加えることで、DX、5G、IoTといった成長分野に関連する事業を強化し、当社の連結業績の向上と中長期的なグループの成長性の向上が期待できる。

ミナト・アドバンスド・テクノロジーズ、 画面に直接触れずに操作できる非接触赤外線センサー 「ディスプレイ」を開発



■ディスプレイのご紹介ページはこちら <https://tss.minato.co.jp/lp/displair/>

■ 「ディスプレイ」のネーミング

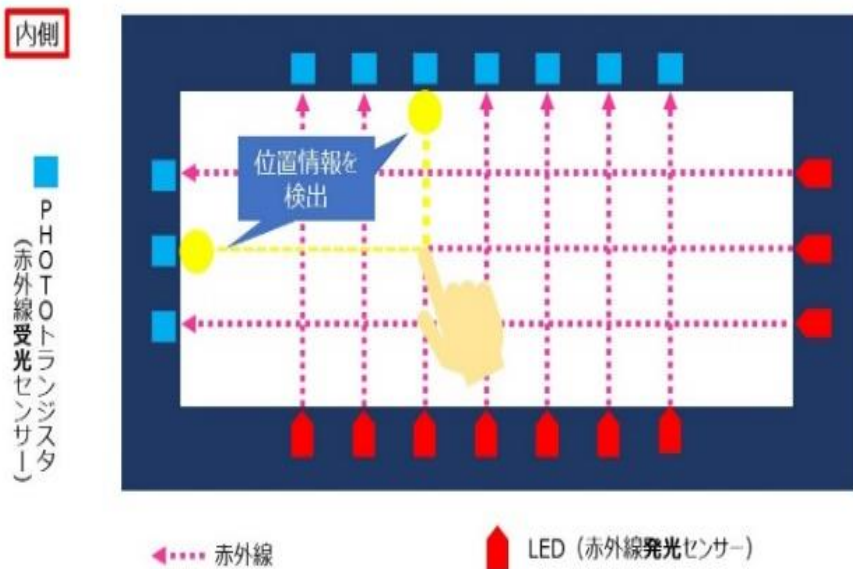
空気にタッチして操作する新感覚タッチレス製品として親しんでもらいたいというメッセージを含めたブランド名。

DISPLAY(画面) + AIR (空気) に由来。



ディスプレイのしくみ

赤外線遮断方式



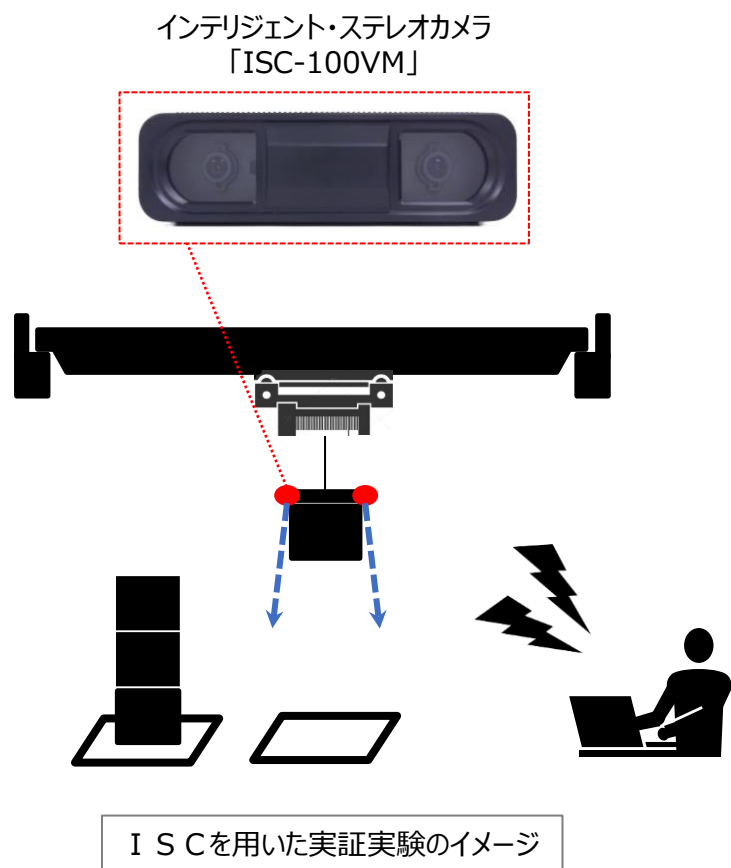
■ 特長

一般的なタッチパネルのようにタッチ面としてのガラス等はないおらず、枠（ベゼル）のみの製品であることがポイントで、既存端末への後付けが可能。

■ しくみ

枠にはLED等が実装された基板が内蔵されており、このLEDから赤外線を放出することで位置情報を検出、画面に直接触れることなく、端末の操作が可能。

インテリジェント・ステレオカメラ（ISC）を利用した 位置検出システム開発に向けて、実証実験を開始



クレーンを用いた荷役作業は、クレーン上部に設置されている操縦席にて、オペレーターが上から貨物を見下ろしながら、目測で荷下ろしや積み上げ等の操作を行っており、慎重かつ熟練の技が必要とされている。

対象物までの距離や位置を正確に計測できるISCを活用することで、より正確で迅速なオペレーションの実現に期待。

■ 実証実験の概要

安川オートメーション・ドライブ株式会社のクレーンシステム内に設置した複数のISCにより、吊荷の目標着床場所の正確な位置情報等を計測。正確で効率の良い荷役作業が行えるよう、操作性と安全性を向上させるソリューションの構築に向けて取り組む。

4

2021年3月期 通期連結業績予想と 今後の施策

通期連結業績予想及び配当予想

業績予想、配当予想ともに、8月公表数値からの変更はない

■ 2021年3月期 通期連結業績予想

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
2021年3月期	15,000	180	120	350
〈ご参考〉 前期実績 (2020年3月期)	12,077	305	301	279

■ 2021年3月期 配当予想

第2四半期	期 末	合 計
—	4円（前期同等）	4円（前期同等）

2020年度通期業績見通しと施策

既存事業での下期での回復、ビデオ会議システムの寄与等を想定

メモリー
モジュール

- PC向けは顧客企業でのメモリーモジュール在庫積み上がりも一服して下期も堅調に推移。
- 産業用途向けも顧客企業に合わせて回復する見通し。

プリンストン

- 子会社化したプリンストンは、下期から連結業績に加わる。
- ビデオ会議システムの需要は高く、積極的な事業拡大を目指す。

デバイス
プログラマ

- 7-8月を底として徐々に回復しており、積極的な営業を展開。
- ROM書込みサービスにおける新規ビジネスの早期スタート、収益化を実行。

システム開発

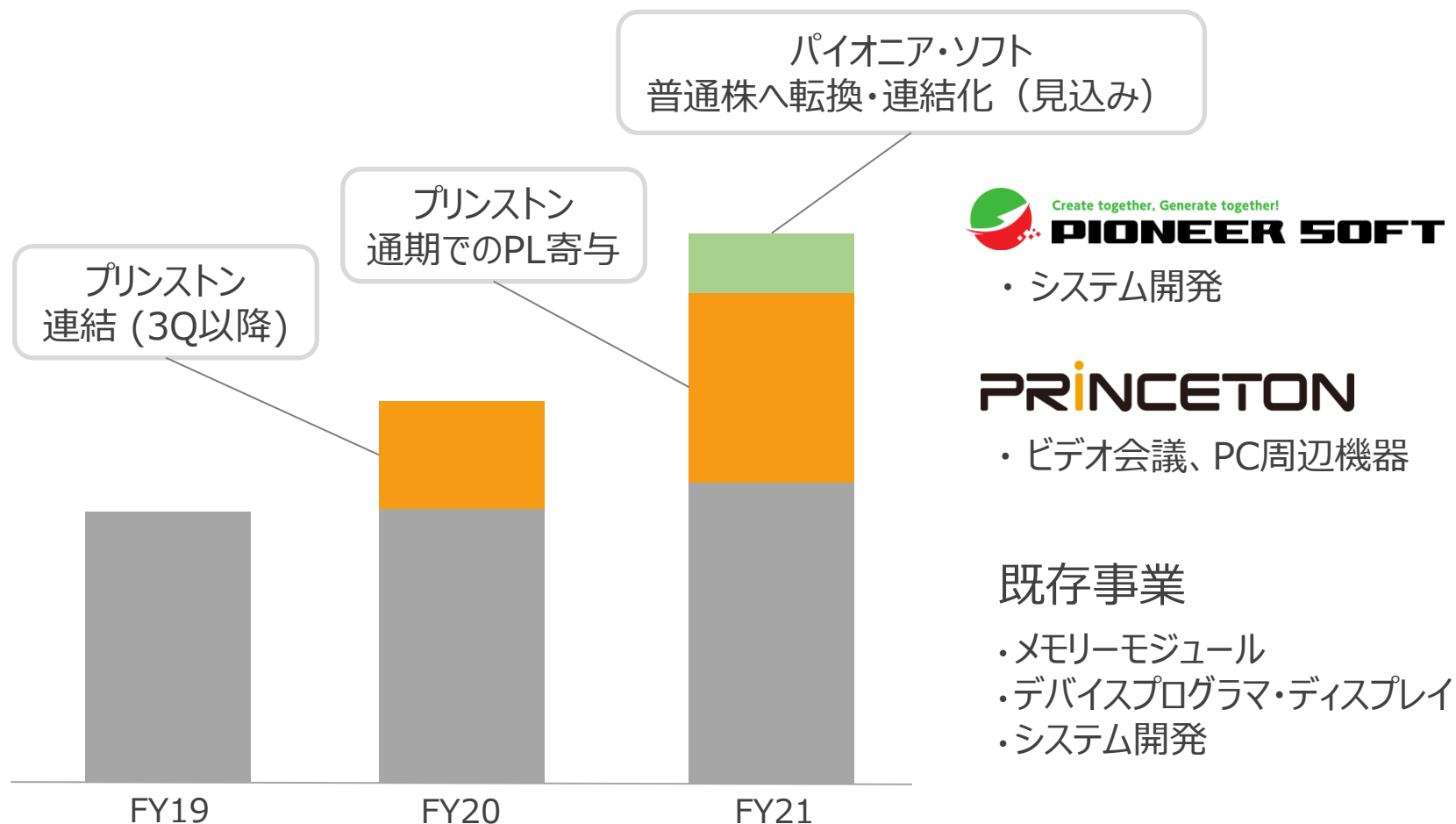
- パイオニア・ソフトとの一体運営と協業を加速。

ホールディン
グス

- グループ横断的な管理部門の効率化等の施策を推進。
- 保有有価証券の売却を進める予定。

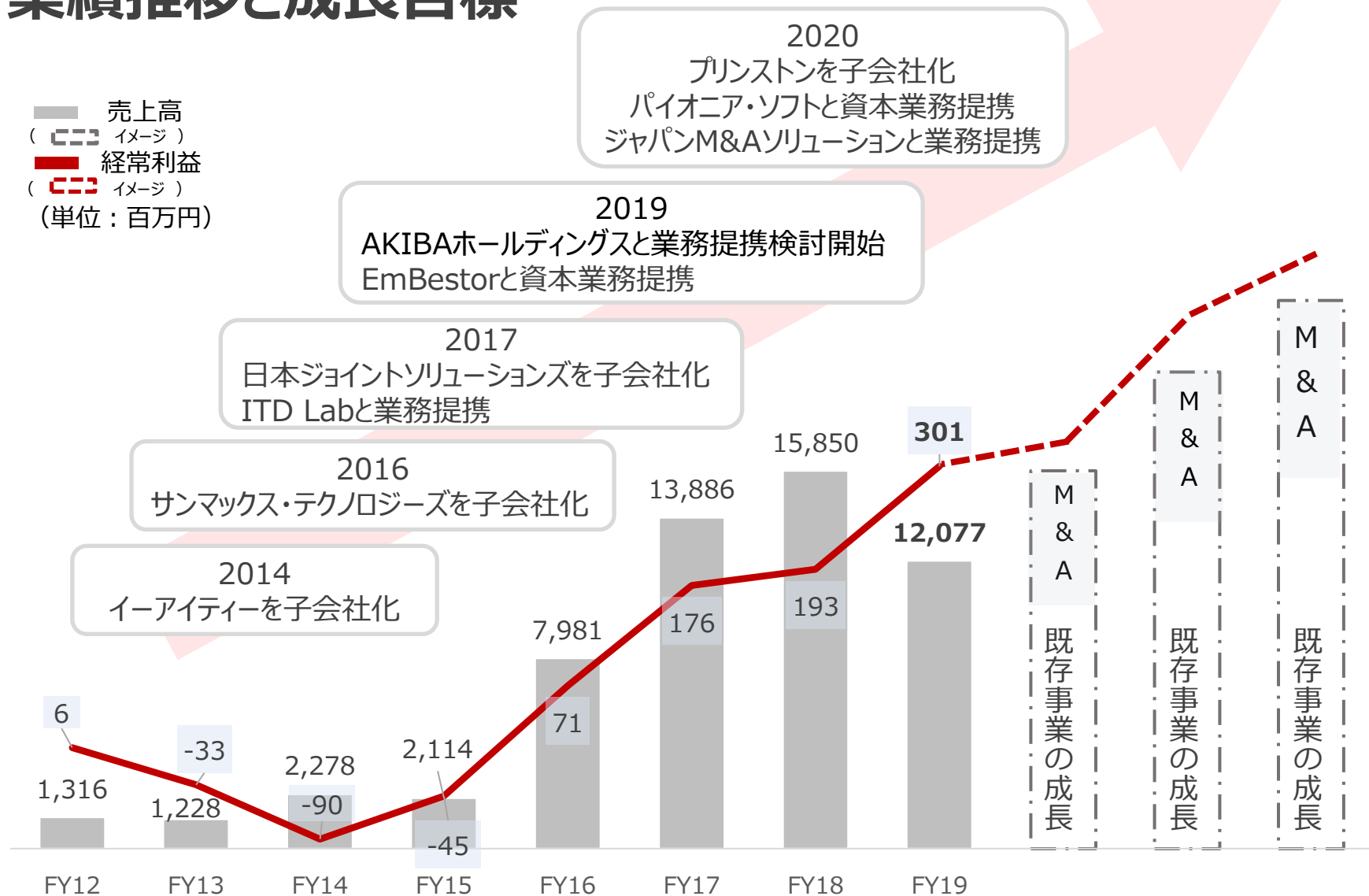
グループの持続的成長

■ プリンストンは2021年度から通期で業績を取り込み、さらにパイオニア・ソフトの連結化も視野

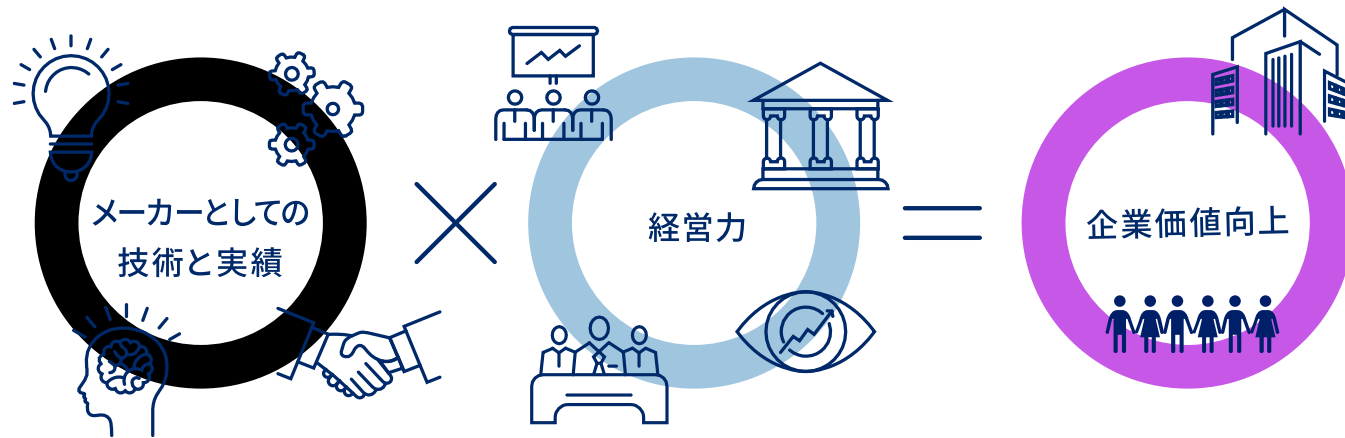


業績推移と成長目標

売上高
 (イメージ)
 経常利益
 (イメージ)
 (単位：百万円)

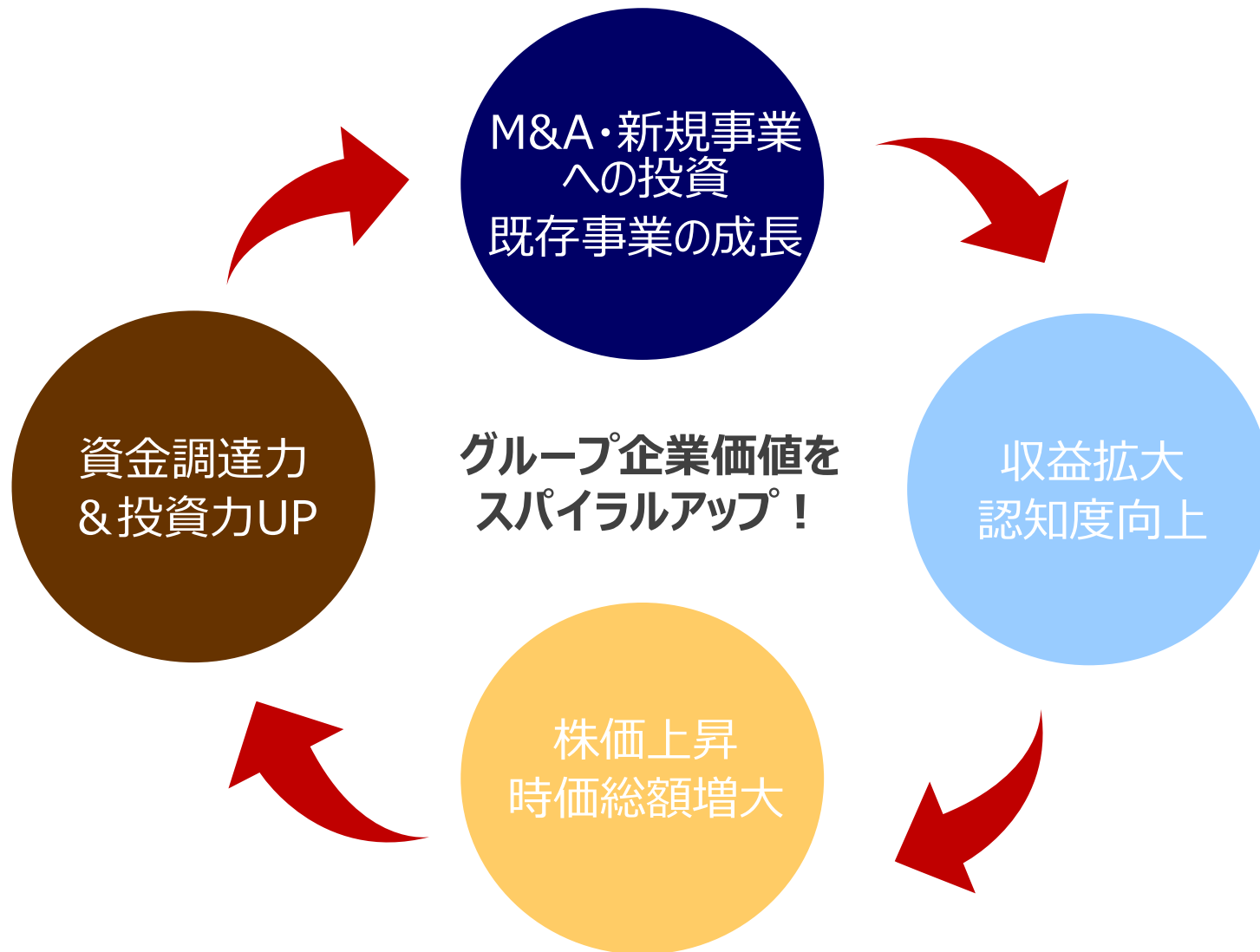


今後の成長戦略



- M&Aや資本業務提携、ベンチャービジネスの発掘等を積極展開し、事業規模を拡大
- 海外展開及び新規事業に関する子会社設立等を通じて、新たな分野への挑戦を継続
- メーカーとしての技術・実績とファイナンス実行力を柱とする経営力により、企業価値の向上を目指す

グループ企業価値の拡大サイクル





会社概要

ミナトホールディングス株式会社

[本社] 〒103-0001
東京都中央区日本橋小伝馬町7-2
古賀オールビル6階

[代表者] 代表取締役会長兼社長 若山 健彦

[設立年月日] 1956年12月17日

[上場証券取引所] 東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)



資本金 1,057,998千円

拠点 3か国9拠点

人数 従業員数370名 (連結)

グループ会社一覧



サンマックス・テクノロジーズ株式会社
メモリーモジュール関連事業

PRINCETON

株式会社プリンストン
ビデオ会議・音声会議システムの保守サポート
Kingston製品、PC周辺機器の輸入販売等

MINATO

ミナト・アドバンスト・テクノロジーズ

ミナト・アドバンスト・テクノロジーズ株式会社
デバイスプログラミング・ディスプレイソリューション関連事業
インテリジェント・ステレオカメラ事業他



ジー・ワーカー株式会社
メモリー、モバイルアクセサリの販売

eIT

株式会社イーアイティー
システム開発関連事業



Japan Joint Solutions

日本ジョイントソリューションズ株式会社
ウェブサイトの構築、広告の制作プロデュース

(海外)

港御（上海）信息技术有限公司
デバイスプログラマ

MFP
MINATO FINANCIAL PARTNERS

ミナト・フィナンシャル・パートナーズ株式会社
企業の買収等の斡旋、仲介及びこれらに関する
コンサルティング業務、太陽光発電



株式会社パイオニア・ソフト
(資本業務提携先)
イーアイティーとの経営統合を目指す

港御（香港）有限公司
デバイスプログラマ、メモリーモジュール

ミナトホールディングス株式会社

JASDAQスタンダード：6862

<https://www.minato.co.jp/>

IRに関するお問い合わせ・各種取材のお申込みは、
広報マーケティンググループまでお願いいたします。

TEL:03-5847-2030 MAIL:mnt_ir@minato.co.jp

免責事項

- 本資料は、ミナトホールディングス株式会社並びにその子会社及び関連会社（以下合わせて「当社」又は「当社グループ」）に関する情報を提供するものであり、いかなる投資勧誘を構成するものではなく、またいかなる投資勧誘とみなされるものでもありません。
- 別段の記載がない限り、本資料に記載されている財務データは日本において一般に公正妥当と認められている会計原則に従って表示されています。
- 過去の業績は、将来の実績を示すものではなく、本資料に記載される当社グループの実績は、当社の将来の実績の予測又は予想を示すものではなく、またその推定を示すものでもありません。
- 本資料に記載されている将来の見通しに関する記述は、本資料の日付現在において入手可能な情報を踏まえた当社グループの現在の前提及び見解に基づくものであり、将来の業績の保証を意味するものではありません。また当社は、本資料に記載される将来の見通しに関する記述その他当社が行う将来の見通しに関する記述を更新する義務を負いません。